

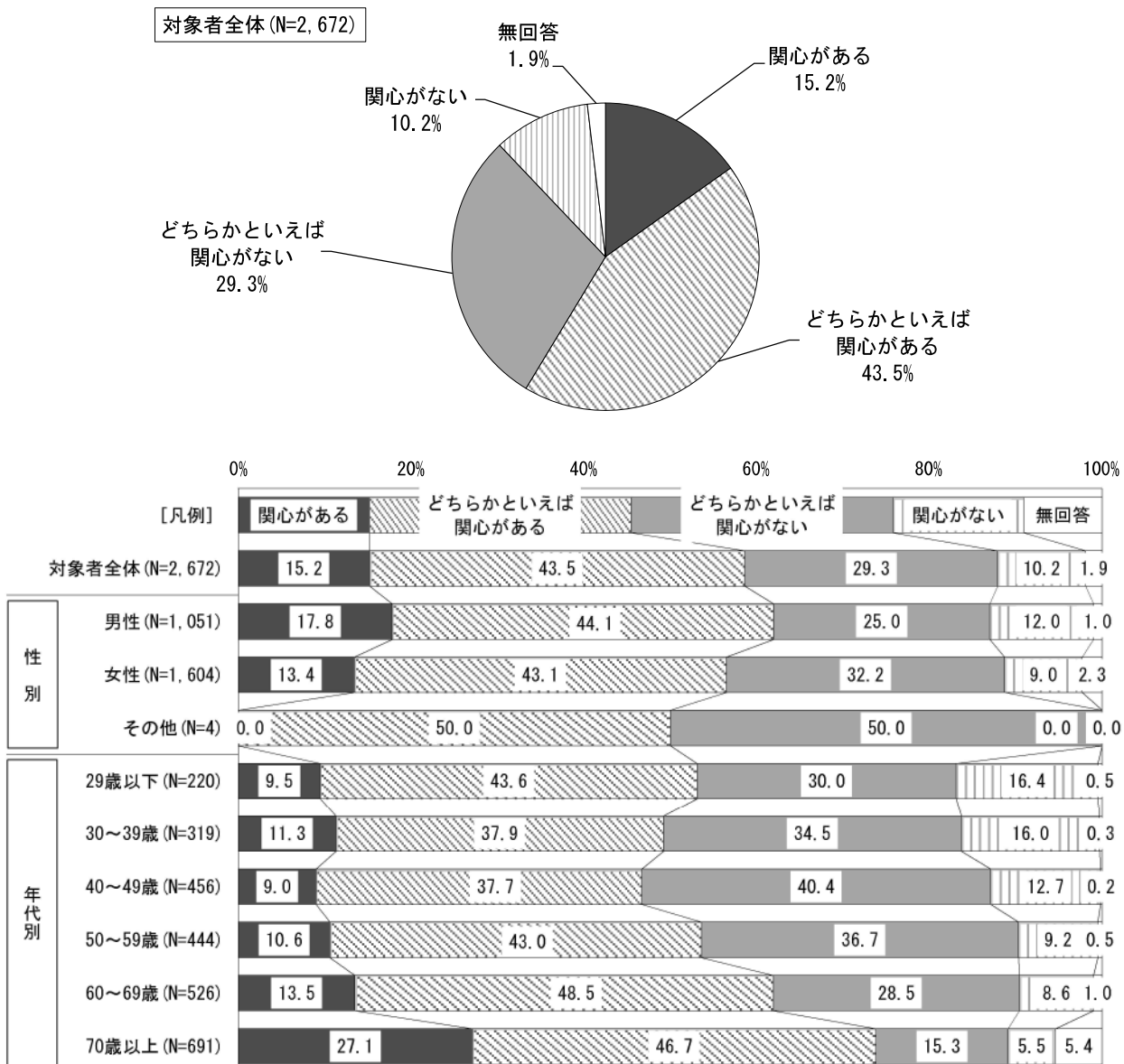
(4) 消防団について

◇地域防災への関心の有無

問 1 3 あなたは、地域防災について関心がありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

地域防災に “関心がある” 人は 58.7%

※ “関心がある”（「関心がある」＋「どちらかといえば関心がある」）



【全体】 地域防災への関心の有無は、「関心がある」が15.2%、「どちらかといえば関心がある」が43.5%、合わせると58.7%となっている。一方、「どちらかといえば関心がない」が29.3%、「関心がない」が10.2%、合わせると39.4%となっている。

【性別】 「どちらかといえば関心がない」が女性で32.2%と、男性の25.0%より7.2ポイント高くなっている。

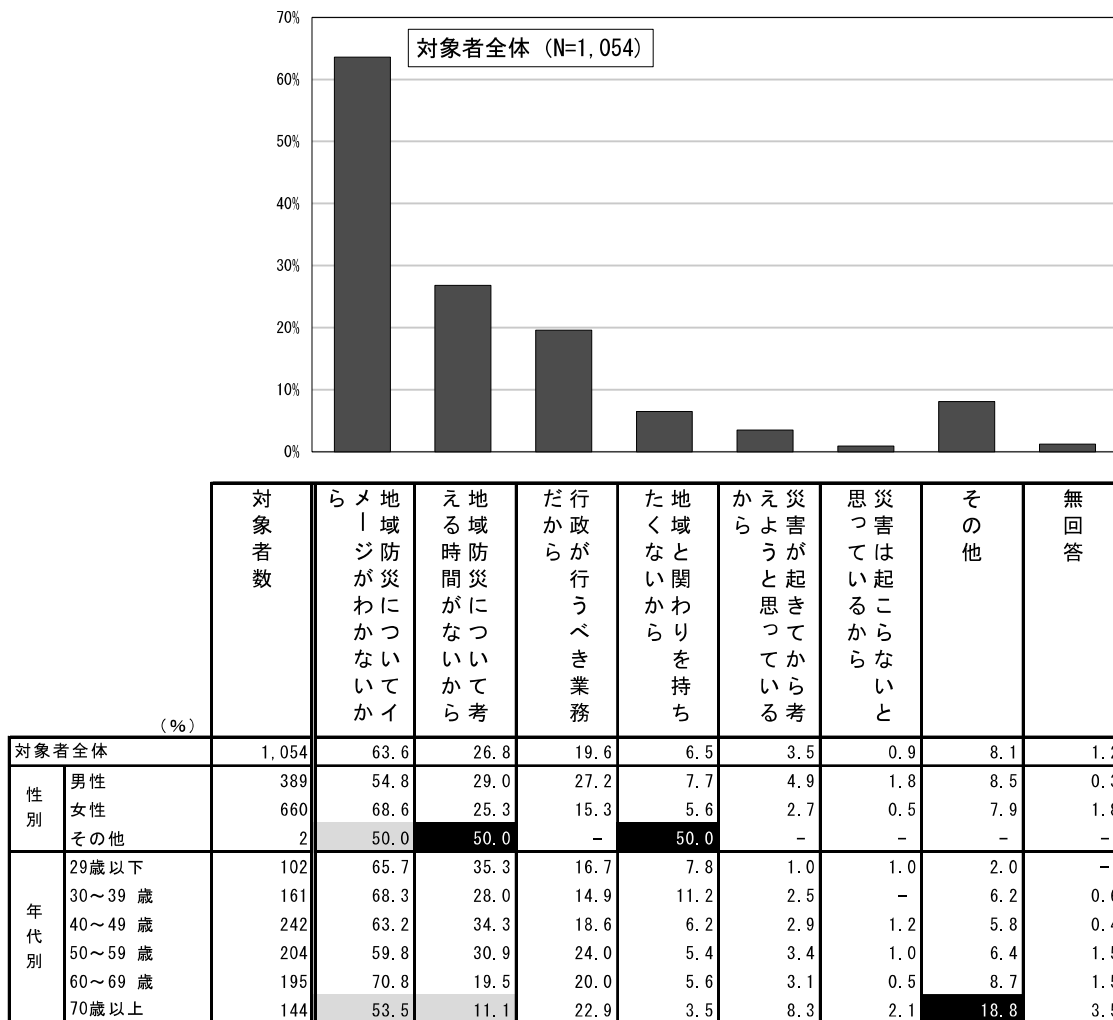
【年代別】 39歳以下と50歳以上では「どちらかといえば関心がある」、40歳代では「どちらかといえば関心がない」が最も高くなっている。

◇地域防災に関心がない理由

《問13で「3 どちらかといえば関心がない」または「4 関心がない」と答えた方にお聞きします。》

問13-1 あなたが、関心がない理由はなんですか。あてはまるものにくつでも○をつけてください。

地域防災に関心がない理由は「地域防災についてイメージがわからないから」と回答した人が63.6%



■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】 地域防災に関心がない理由は、「地域防災についてイメージがわからないから」が63.6%、「地域防災について考える時間がないから」が26.8%、「行政が行うべき業務だから」が19.6%となっている。

【性別】 「地域防災についてイメージがわからないから」が女性で68.6%と、男性の54.8%より13.8ポイント高くなっている。また、「行政が行うべき業務だから」は男性が27.2%と、女性の15.3%より11.9ポイント高くなっている。

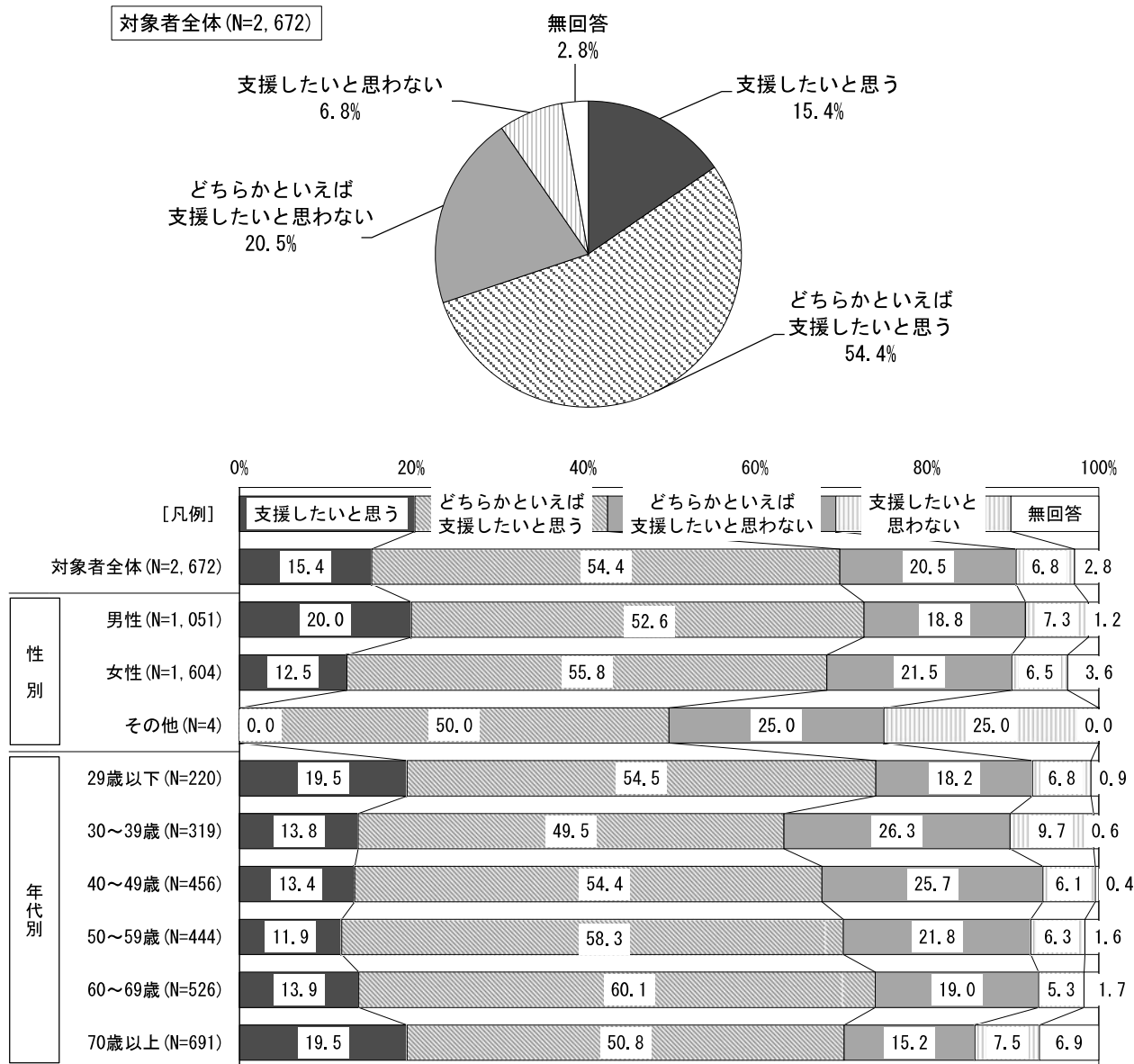
【年代別】 「地域防災についてイメージがわからないから」が60歳代（70.8%）で最も高く、最も低い70歳以上（53.5%）と比べると17.3ポイントの差となっている。

◇ボランティアで地域貢献や災害時に地域住民を助ける支援をしたいか否か

問 1 4 あなたは、ボランティアで地域貢献をしたり、災害時に地域住民を助ける支援をしたいと思えますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

ボランティアで地域貢献や災害時に地域住民を助ける“支援をしたいと思う”人は69.8%

※“支援したいと思う”（「支援したいと思う」＋「どちらかといえば支援したいと思う」）



【全 体】 ボランティアで地域貢献や災害時に地域住民を助ける支援をしたいか否かは、「支援したいと思う」が15.4%、「どちらかといえば支援したいと思う」が54.4%、合わせると69.8%となっている。一方、「どちらかといえば支援したいと思わない」が20.5%、「支援したいと思わない」が6.8%、合わせると27.3%となっている。

【性 別】 「支援したいと思う」が男性で20.0%と、女性の12.5%より7.5ポイント高くなっている。

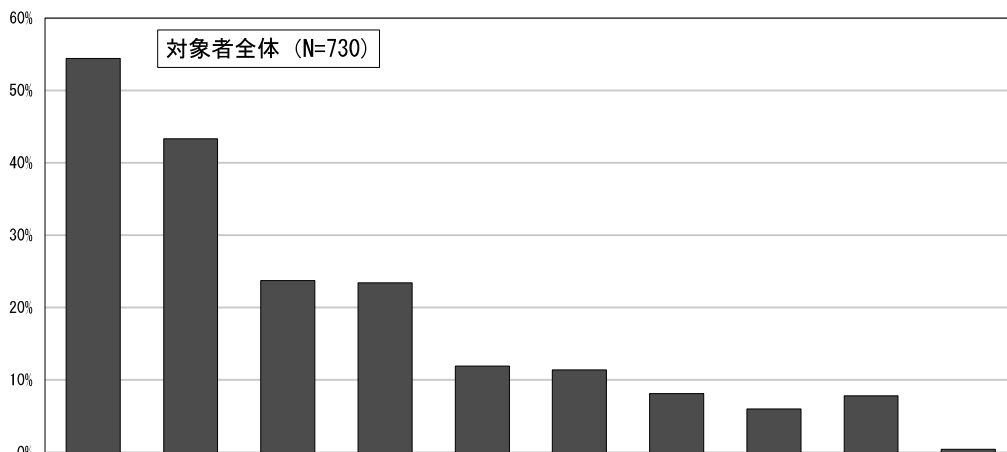
【年代別】 “支援したいと思う”が29歳以下（74.1%）で最も高く、最も低い30歳代（63.3%）と比べると10.8ポイントの差となっている。

◇ボランティアで地域貢献や災害時に地域住民を助ける支援をしたいと思わない理由

《問14で「3 どちらかといえば支援したいと思わない」または「4 支援したいと思わない」と答えた方にお聞きします。》

問14-1 あなたが、支援をしたいと思わない理由は何ですか。あてはまるものいくつでも○をつけてください。

ボランティアで地域貢献や災害時に地域住民を助ける支援をしたいと思わない理由は「自分自身のことで精一杯だから」と回答した人が54.4%



対象者数 (%)		自分自身のことで精一杯だから	自分自身の体力等により難しいと思うから	支援の方法がわからないから	支援できるような時間が無いから	行政が支援すべきだと思うから	関わることで感染症が怖いから	支援するのが面倒だから	地域と関わりを持ちたくないから	その他	無回答	
対象者全体	730	54.4	43.3	23.7	23.4	11.9	11.4	8.1	6.0	7.8	0.4	
性別	男性	275	52.7	36.7	18.9	28.0	17.5	9.1	7.3	7.6	0.4	
	女性	450	55.3	47.1	26.2	20.4	8.4	12.4	7.3	5.1	8.0	0.4
	その他	2	50.0	50.0	100.0	50.0	-	-	-	50.0	-	-
年代別	29歳以下	55	63.6	18.2	30.9	30.9	9.1	3.6	18.2	5.5	3.6	-
	30~39歳	115	65.2	19.1	23.5	32.2	15.7	11.3	10.4	10.4	9.6	-
	40~49歳	145	53.8	26.9	29.0	29.0	12.4	13.8	9.0	6.2	10.3	0.7
	50~59歳	125	50.4	35.2	20.0	29.6	12.0	12.0	9.6	6.4	7.2	-
	60~69歳	128	50.0	59.4	25.8	16.4	14.8	12.5	7.0	6.3	3.9	-
	70歳以上	157	49.7	77.1	16.6	10.2	7.0	9.6	1.9	2.5	9.6	1.3

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】 ボランティアで地域貢献や災害時に地域住民を助ける支援をしたいと思わない理由は、「自分自身のことで精一杯だから」が54.4%、「自分自身の体力等により難しいと思うから」が43.3%、「支援の方法がわからないから」が23.7%となっている。

【性別】 「自分自身の体力等により難しいと思うから」、「支援の方法がわからないから」は女性が男性より7.0ポイント以上高くなっている。また、「支援できるような時間が無いから」、「行政が支援すべきだと思うから」は男性が女性より7.0ポイント以上高くなっている。

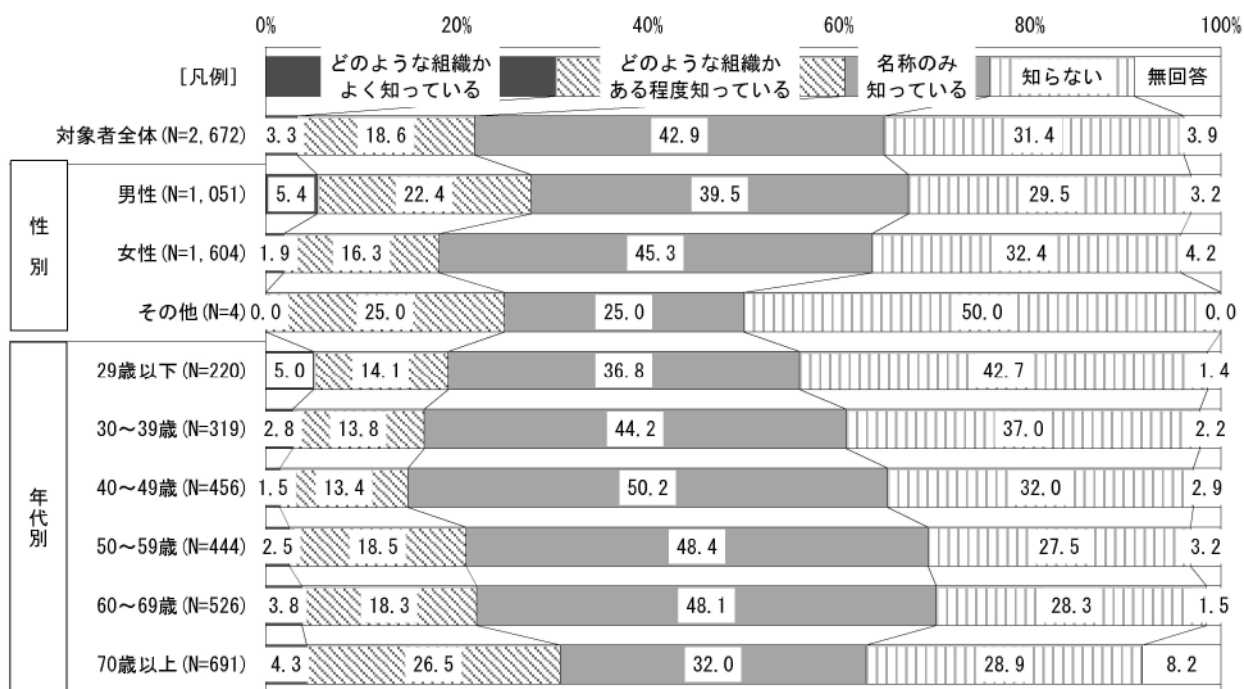
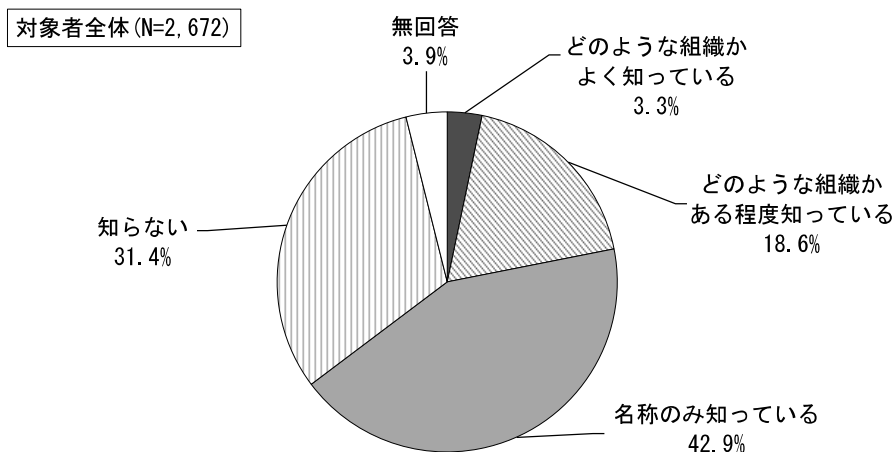
【年代別】 「自分自身のことで精いっぱいだから」は30歳代が65.2%と最も高く、70歳以上が49.7%で一番低くなっている。

◇消防団の認知度

問 1 5 あなたは、地域防災の担い手として組織されている消防団の存在を知っていましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

消防団を“知っている”人は 64.8%

※ “知っている”（「どのような組織かよく知っている」+「どのような組織かある程度知っている」+「名称のみ知っている」）



【全体】 消防団の認知度は、「どのような組織かよく知っている」が3.3%、「どのような組織かある程度知っている」が18.6%、「名称のみ知っている」が42.9%、合わせると64.8%となっている。一方、「知らない」が31.4%となっている。

【性別】 「どのような組織かある程度知っている」が男性で22.4%と、女性の16.3%より6.1ポイント高くなっている。また「名称のみ知っている」が女性で45.3%と、男性の39.5%より5.8ポイント高くなっている。

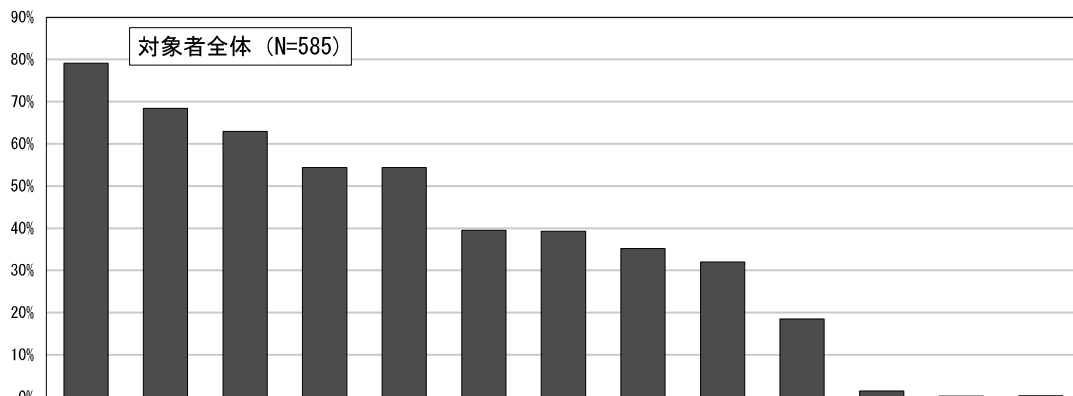
【年代別】 “知っている”が60歳代(70.2%)で最も高く、次いで50歳代(69.4%)、40歳代(65.1%)となっている。

◇消防団の活動で認知している内容

《問15で「1 どのような組織がよく知っている」または「2 どのような組織がある程度知っている」と答えた方にお聞きします。》

問15-1 消防団の活動について、あなたが知っているものは何ですか。あてはまるものにいくつでも○を付けてください。

消防団の活動で認知している内容は「消火活動」と回答した人が79.1%



		対象者数	消火活動	防災訓練	防火パトロール	救助活動	避難誘導	火災予防などの街頭啓発	救護活動	地域住民への防災訓練の指導	応急手当や救護に関する訓練	地域住民への応急手当の指導	その他	特になし	無回答
対象者全体		585	79.1	68.4	62.9	54.4	54.4	39.5	39.3	35.2	32.0	18.5	1.4	0.2	0.3
性別	男性	292	81.8	67.8	64.0	54.8	56.5	46.9	42.5	38.7	34.2	16.8	1.7	0.3	0.3
	女性	291	76.3	69.1	61.9	54.0	52.2	32.0	36.1	31.6	29.6	19.9	1.0	-	0.3
	その他	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	-	-
年代別	29歳以下	42	83.3	64.3	50.0	69.0	71.4	45.2	47.6	31.0	38.1	21.4	2.4	2.4	-
	30～39歳	53	83.0	62.3	60.4	47.2	39.6	28.3	28.3	17.0	26.4	13.2	1.9	-	1.9
	40～49歳	68	73.5	66.2	72.1	32.4	38.2	42.6	25.0	35.3	27.9	16.2	1.5	-	-
	50～59歳	93	76.3	57.0	59.1	45.2	50.5	32.3	30.1	22.6	24.7	16.1	-	-	1.1
	60～69歳	116	80.2	72.4	72.4	52.6	52.6	45.7	35.3	42.2	28.4	16.4	2.6	-	-
	70歳以上	213	79.8	74.2	59.6	65.3	62.4	39.9	51.2	42.3	38.5	22.1	0.9	-	-

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】消防団の活動で認知している内容は、「消火活動」が79.1%、「防災訓練」が68.4%、「防火パトロール」が62.9%となっている。

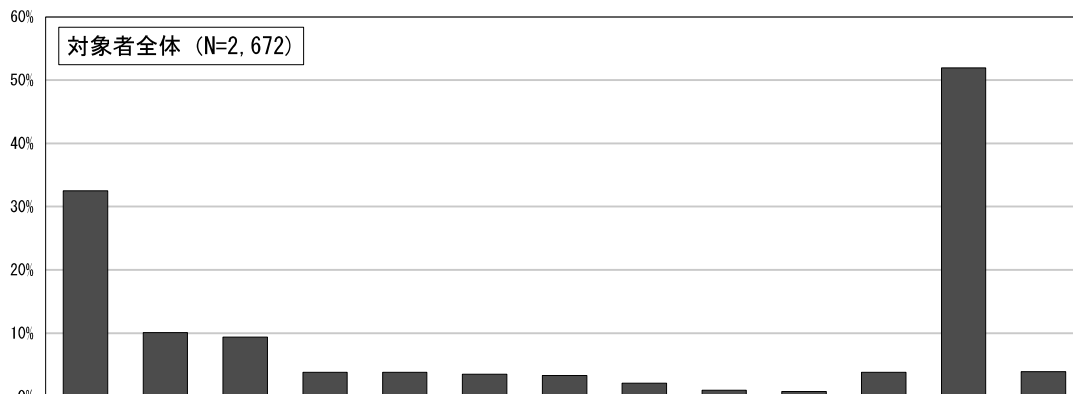
【性別】「消火活動」、「火災予防などの街頭啓発」、「救護活動」、「地域住民への防災訓練の指導」は男性が女性より5.0ポイント以上高くなっている。

【年代別】「救助活動」が29歳以下(69.0%)で最も高く、最も低い40歳代(32.4%)と比べると36.6ポイントの差となっている。

◇消防団のPRの認知度

問16 札幌市では、様々な方法で消防団をPRしています。あなたが、見聞きしたことがあるものに、いくつでも○をつけてください。

消防団のPRで見聞きしたことがあるものは「広報さっぽろ」と回答した人が32.5%



		対象者数	広報さっぽろ	地下鉄車内広告	地下鉄駅掲示板(ポスター)	市電車内広告	チラシ	フリーペーパー	札幌市公式ホームページ	街頭ビジョン(チカホ・スキノ交差点)	インターネット広告	市電停留所広告	その他	特になし	無回答
対象者全体		2,672	32.5	10.1	9.4	3.8	3.8	3.5	3.3	2.1	1.0	0.8	3.8	51.9	3.9
性別	男性	1,051	34.5	10.7	10.1	4.7	5.0	3.5	4.8	2.8	1.4	1.1	3.2	50.6	2.9
	女性	1,604	31.4	9.9	9.0	3.2	3.0	3.6	2.4	1.7	0.7	0.6	4.2	52.5	4.6
	その他	4	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	50.0
年代別	29歳以下	220	12.3	14.5	13.2	6.8	3.6	4.1	1.8	7.7	2.3	0.9	1.8	63.6	2.3
	30~39歳	319	19.1	10.7	8.8	3.8	4.4	4.4	3.8	3.1	2.2	0.6	4.1	64.3	1.6
	40~49歳	456	21.1	6.4	9.4	2.4	2.2	3.5	1.3	1.8	0.9	-	3.5	66.9	1.1
	50~59歳	444	26.8	9.2	9.0	2.3	2.5	2.9	2.7	1.6	0.9	0.9	5.0	59.0	1.1
	60~69歳	526	39.5	7.8	6.1	1.9	4.4	3.8	2.7	1.1	0.8	0.6	5.1	47.7	3.4
	70歳以上	691	51.4	13.5	11.4	6.1	4.9	3.2	5.8	1.2	0.4	1.3	2.9	30.5	9.6

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】消防団のPRで見聞きしたことがあるものは、「広報さっぽろ」が32.5%、「地下鉄車内広告」が10.1%、「地下鉄駅掲示板(ポスター)」が9.4%となっている。

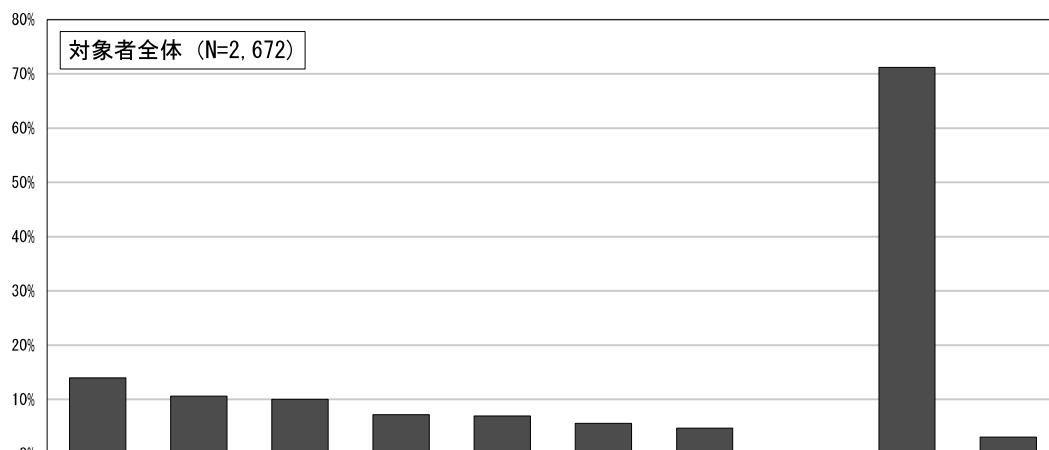
【性別】大きな差は見られない。

【年代別】「広報さっぽろ」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇消防団員の立場や待遇の認知度

問 1 7 あなたは、消防団員の立場や待遇について知っていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

消防団員の立場や待遇で知っていることは「活動に必要な制服等が支給される」と回答した人が14.0%



		対象者数	活動に必要な制服等が支給される (%)	報酬が支払われる (%)	非常勤の地方公務員である (%)	半数以上の被雇用者である (%)	怪我等を補償する制度がある (%)	入団の年齢制限に上限が無い (%)	大学生(専門学生、短大生、大学生)が短大生以上 (%)	その他 (%)	知らない (%)	無回答 (%)
対象者全体		2,672	14.0	10.6	10.0	7.2	7.0	5.6	4.7	0.5	71.2	3.1
性別	男性	1,051	16.7	15.1	12.7	8.4	9.4	6.6	6.5	0.7	67.5	2.5
	女性	1,604	12.3	7.7	8.2	6.5	5.4	5.0	3.5	0.4	73.7	3.4
	その他	4	-	25.0	-	-	25.0	-	25.0	-	50.0	-
年代別	29歳以下	220	10.9	7.7	6.8	8.2	5.5	5.0	5.9	0.5	75.0	0.9
	30~39歳	319	5.6	7.8	4.1	5.6	2.2	4.1	3.8	0.3	81.8	1.3
	40~49歳	456	9.0	7.2	5.0	6.6	2.6	3.5	3.5	0.2	80.7	0.2
	50~59歳	444	13.3	11.5	6.8	7.7	6.1	5.6	5.6	0.5	75.2	0.9
	60~69歳	526	14.1	10.6	9.1	7.4	6.5	6.8	3.8	0.8	71.9	1.3
	70歳以上	691	22.9	14.6	19.8	7.7	13.6	6.8	5.6	0.6	55.7	9.1

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】消防団員の立場や待遇で知っていることは、「活動に必要な制服等が支給される」が14.0%、「報酬が支払われる」が10.6%、「非常勤の地方公務員である」が10.0%となっている。

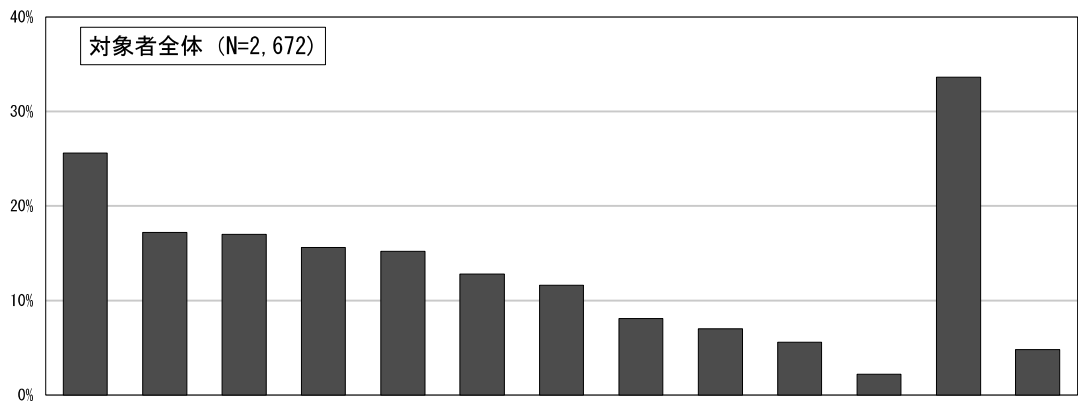
【性別】「報酬が支払われる」が男性で15.1%と、女性の7.7%より7.4ポイント高くなっている。また、「知らない」が女性で73.7%と、男性の67.5%より6.2ポイント高くなっている。

【年代別】「知らない」が30歳代(81.8%)で最も高く、最も低い70歳以上(55.7%)と比べると26.1ポイントの差となっている。

◇消防団に入団した場合に関わってみたいこと

問 1 8 あなたが仮に消防団に入団した場合、関わってみたいことはありますか。あてはまるものにくつでも○をつけてください。

消防団に入団した場合に関わってみたいことは「応急手当や救護に関する訓練」と回答した人が 25.6%



		対象者数	応急手当や救護に関する訓練 (%)	救護活動 (%)	避難誘導 (%)	防災訓練 (%)	救助活動 (%)	防火パトロール (%)	消火活動 (%)	地域の住民への応急手 (%)	啓発 火災予防などの街頭 (%)	地域の住民への防災訓 (%)	その他 (%)	特にな (%)	無回答 (%)
対象者全体		2,672	25.6	17.2	17.0	15.6	15.2	12.8	11.6	8.1	7.0	5.6	2.2	33.6	4.8
性別	男性	1,051	18.8	18.2	21.4	19.0	21.6	18.8	18.2	6.3	9.3	7.1	1.5	33.5	2.2
	女性	1,604	30.1	16.6	14.2	13.5	11.1	9.0	7.5	9.3	5.4	4.6	2.6	33.7	6.2
	その他	4	25.0	25.0	25.0	-	50.0	-	-	-	25.0	-	-	-	-
年代別	29歳以下	220	29.5	19.5	21.4	16.4	18.2	9.1	13.2	12.3	4.1	7.3	-	31.4	0.5
	30～39 歳	319	32.6	17.6	15.4	13.5	17.9	9.1	14.7	12.2	6.0	7.5	1.3	36.7	0.6
	40～49 歳	456	33.1	19.7	16.9	19.3	18.0	11.4	11.4	9.6	5.0	5.0	1.8	32.5	0.7
	50～59 歳	444	27.7	18.7	15.8	16.2	16.7	11.5	14.2	6.1	8.6	5.9	1.8	34.2	1.8
	60～69 歳	526	23.8	19.8	17.1	15.8	13.7	12.9	8.0	6.1	6.8	5.1	1.0	34.2	3.0
	70歳以上	691	16.4	12.0	17.4	13.6	11.7	17.7	11.1	6.5	8.7	4.8	4.8	32.4	13.7

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】 消防団に入団した場合に関わってみたいことは、「応急手当や救護に関する訓練」が 25.6%、「救護活動」が 17.2%、「避難誘導」が 17.0%となっている。

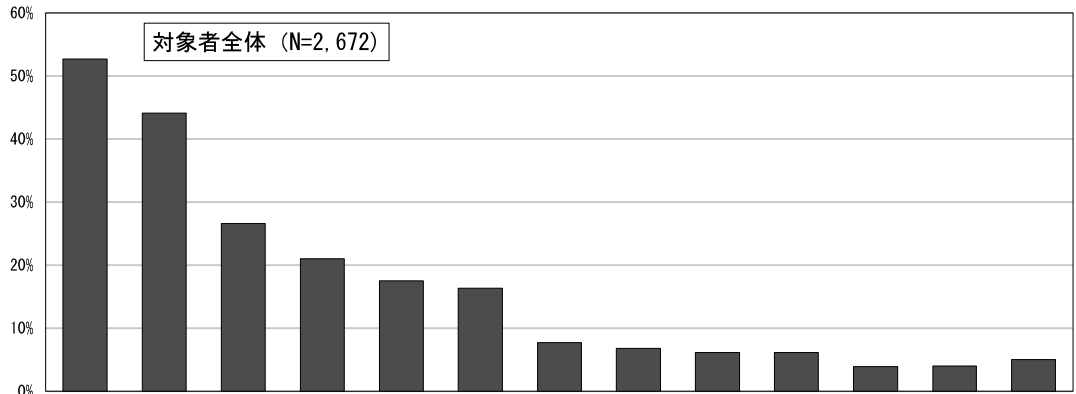
【性 別】 「避難誘導」、「防災訓練」、「救助活動」、「防火パトロール」、「消火活動」は男性が女性より 5.0 ポイント以上高くなっている。また、「応急手当や救護に関する訓練」が女性で 30.1%と、男性の 18.8%より 11.3 ポイント高くなっている。

【年代別】 「応急手当や救護に関する訓練」では 40 歳代(33.1%)で最も高く、次いで 30 歳代(32.6%)、29 歳以下 (29.5%) となっている。

◇消防団に入団した場合に不安に感じること

問 1 9 あなたが仮に消防団に入団した場合、どのようなことに不安を感じると思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

消防団に入団した場合に不安に感じることは「体力が必要そう」と回答した人が52.7%



		対象者数	体力が必要そう	活動に参加する時間が取れなさそう	活動のイメージがわからない	災害活動が危険そう	活動頻度が多そう	人間関係が難しそう	職場の理解が得られなさそう	入団手続きが面倒そう	家族の理解が得られなさそう	報酬が低そう	その他	特に不安に感じることはない	無回答
対象者全体 (%)		2,672	52.7	44.1	26.6	21.0	17.5	16.3	7.7	6.8	6.1	6.1	3.9	4.0	5.0
性別	男性	1,051	47.0	47.0	24.0	17.1	17.8	17.4	10.5	7.5	6.1	7.9	3.9	6.0	3.0
	女性	1,604	56.5	42.4	28.3	23.4	17.3	15.5	5.9	6.2	6.0	4.8	3.9	2.7	6.1
	その他	4	50.0	50.0	25.0	50.0	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	-
年代別	29歳以下	220	49.5	59.1	32.7	30.0	20.9	24.5	12.3	18.2	3.6	18.2	1.4	3.6	0.5
	30～39歳	319	43.9	65.2	37.3	27.6	24.8	23.2	13.2	11.0	8.2	12.2	2.8	3.1	0.9
	40～49歳	456	40.8	66.2	29.2	23.5	25.0	20.2	12.5	6.8	6.1	7.2	2.4	2.9	0.2
	50～59歳	444	46.4	56.3	28.8	17.3	16.9	19.4	9.0	7.2	5.2	4.3	1.8	4.7	0.7
	60～69歳	526	64.4	34.2	26.4	18.3	15.2	13.5	5.1	4.6	5.3	3.0	2.1	4.0	2.7
	70歳以上	691	61.1	14.8	16.5	17.8	10.1	8.1	1.9	2.3	7.1	2.0	9.0	4.6	15.9

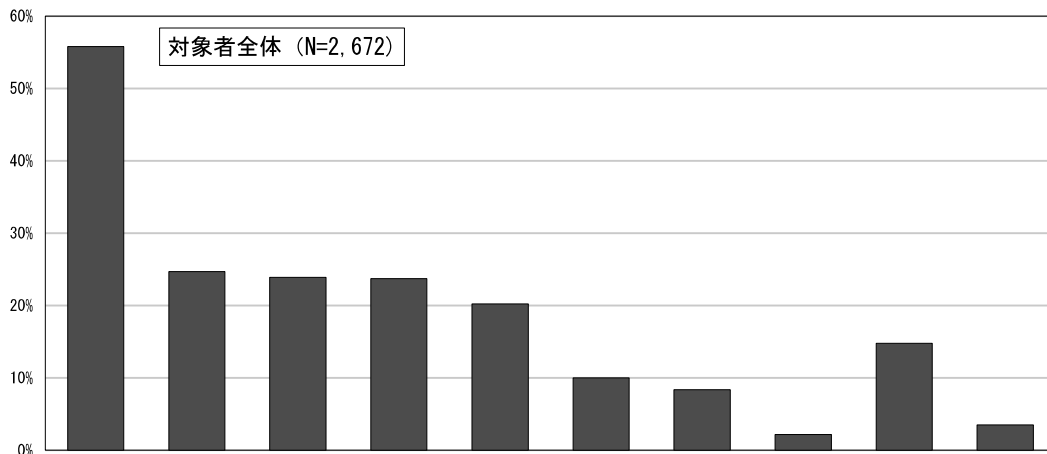
■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

- 【全体】 消防団に入団した場合に不安に感じることは、「体力が必要そう」が52.7%、「活動に参加する時間が取れなさそう」が44.1%、「活動のイメージがわからない」が26.6%となっている。
- 【性別】 「体力が必要そう」、「災害活動が危険そう」は女性が男性より6.0ポイント以上高くなっている。
- 【年代別】 59歳以下では「活動に参加する時間が取れなさそう」が、60歳以上では「体力が必要そう」が最も高くなっている。

◇消防団を身近に感じるきっかけ

問20 あなたはどのようなきっかけがあれば、消防団を身近に感じると思いますか。あてはまるものはいくつでも○をつけてください。

消防団を身近に感じるきっかけは「消防団の活動や訓練を間近に見たとき」と回答した人が55.8%



		対象者数	消防団の活動や訓練を間近に見たとき	消防団として地域行事に積極的に参加する姿を見たとき	消防団の活動や訓練を実際に体験したとき	消防団の経験を直接消防団員の活動を見たとき	仕事や学生生活、家事育児を行いながら、消防団の活動を両立している事例を見聞きしたとき	報酬などの待遇面について知ることができたとき	ホームページや動画などで消防団を見たとき	その他	特になし	無回答
対象者全体		2,672	55.8	24.7	23.9	23.7	20.2	10.0	8.4	2.2	14.8	3.5
性別	男性	1,051	51.8	24.3	24.5	21.1	13.9	10.2	8.9	2.1	19.9	2.7
	女性	1,604	58.7	25.2	23.6	25.4	24.2	9.9	8.0	2.2	11.5	3.9
	その他	4	100.0	-	100.0	25.0	75.0	25.0	-	-	-	-
年代別	29歳以下	220	59.5	23.6	35.9	26.8	31.4	22.7	7.7	0.9	10.0	0.9
	30~39歳	319	60.8	20.7	28.2	27.0	30.1	18.8	9.7	2.2	11.0	0.9
	40~49歳	456	54.6	21.5	29.6	24.1	30.0	15.8	10.1	2.6	11.0	1.1
	50~59歳	444	57.9	24.5	30.2	25.2	21.4	8.1	8.1	1.8	16.0	0.5
	60~69歳	526	56.8	23.6	19.6	26.4	15.2	5.9	8.0	2.1	18.3	1.3
	70歳以上	691	51.5	30.1	13.9	17.8	8.5	2.3	7.4	2.9	17.2	10.4

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】 消防団を身近に感じるきっかけは、「消防団の活動や訓練を間近に見たとき」が55.8%、「消防団として地域行事に積極的に参加する姿を見たとき」が24.7%、「消防団の活動や訓練を実際に体験したとき」が23.9%となっている。

【性別】 「消防団の活動や訓練を間近に見たとき」、「仕事や学生生活、家事育児を行いながら、消防団の活動を両立している事例を見聞きしたとき」は女性が男性より6.0ポイント以上高くなっている。

【年代別】 29歳以下では「消防団の活動や訓練を間近に見たとき」、「仕事や学生生活、家事育児を行いながら、消防団の活動を両立している事例を見聞きしたとき」、「報酬などの待遇面について知ることができたとき」が全体と比べて11.0ポイント以上高くなっている。